

(1) マイナンバーカードの普及促進

| | |
|------|--|
| 方向性 | 臨時受付窓口の設置や効果的なPRを行うなど、マイナンバーカードの普及促進に取り組めます。 |
| 取り組み | 昨年度、市駅市民室サービスセンターなどで行った臨時受付窓口について、今年度も継続するとともに、転入手続き時にチラシを配布するなど、市民室の来庁者にマイナンバーカードの取得を働きかけます。 ≪目標値≫ 人口に占めるマイナンバーカードの交付件数の割合 16% 平成31年度当初予算：0千円 |

9月末の
進捗状況
【〇】

市民室に転入手続きに来られた方にはチラシを配布し、マイナンバーカード取得を働きかけています。今後の予定としては、12月に市駅市民室サービスセンターで臨時受付窓口を開設し、顔写真の無料撮影サービスなど普及に向けたキャンペーンを行います。

(2) 協働によるまちづくりの推進

| | |
|------|---|
| 方向性 | 地域課題が多様化・複雑化している中で、市民や市民団体（校区コミュニティ協議会、NPO）などと地域課題を共有し、信頼関係をより深めながら、協働によるまちづくりを進めます。 協働の実現のためには、職員の協働に対する理解をより深め、従来の形にとらわれない新たな発想が必要であり、全庁的な協働の機運を高めていきます。 |
| 取り組み | 協働によるまちづくりをさらに推進するため、地域に市職員を配置する「地域担当職員制度」を平成28年度に導入し、校区コミュニティ協議会と定期的に情報交換を行うことで、地域の実情を把握するとともに、信頼関係の構築に向けた活動等に取り組んでおり、今年度においても引き続き実施します。 また、校区コミュニティ協議会が校区の特色を活かして、地域の活性化を図るために実施する「地域づくりデザイン事業」がより活発に展開されるよう、地域の意見を聞きながら見直しを進めます。 さらに、行政とNPOとの意見交換会をひらかた市民活動支援センターと協働して実施するほか、協働ハンドブックを活用した職員研修を実施し、職員の協働の意識を高めていきます。 ≪目標値≫ ・地域担当職員が枚方市コミュニティ連絡協議会のブロック会議に参加する回数：12回（8回） ・行政とNPOとの意見交換会の回数：3回（2回） ※（）内は平成30年度実績 平成31年度当初予算：550千円 |

| | |
|-----------------------------|---|
| 9月末の 進捗状況 【〇】 | 地域担当職員が、枚方市コミュニティ連絡協議会のブロック会議に6回参加し、校区コミュニティ協議会と情報交換を行うことで、地域の実情を把握するとともに、信頼関係の構築に向けた活動等に取り組んでいます。 行政とNPOとの意見交換会は、「みどりのプラットフォーム」と「受動喫煙の防止対策」をテーマに、8月に2回開催しました。 |
|-----------------------------|---|

| (3) 枚方市地域防災計画の修正等について | |
|-----------------------|---|
| 方向性 | 平成30年の大阪北部地震、台風21号は、本市がこれまでに経験したことのない規模の自然災害で、多くの被害を出しました。また、災害対応が長期化することで、様々な課題も浮き彫りとなりました。近年多発し、被害規模も大きくなる傾向の自然災害に備えるため、災害対応における課題を検証し、枚方市地域防災計画を含めた防災関係計画の修正等を実施します。 |
| 取り組み | 上位計画となる国の防災基本計画および大阪府地域防災計画の修正内容を、枚方市地域防災計画に反映させるとともに、大災害時に他の自治体等からの支援受入れを円滑に行うことができるよう、枚方市受援計画を策定し、その内容と整合性を図るために枚方市業務継続計画（BCP）の修正を行います。さらに、これら防災関連計画の修正・策定を踏まえて、枚方市職員災害時初動マニュアルの策定にも取り組みます。 |
| 平成31年度当初予算：14,774千円 | |

| | |
|-----------------------------|--|
| 9月末の 進捗状況 【〇】 | 地域防災計画及びその他計画について、素案を提示し庁内意見を集約しました。9月13日災害対策本部員会議を開催し、修正の方向性について合意形成を図りました。 |
|-----------------------------|--|

| (4) 枚方ひこ防' z 2019の実施について | |
|--------------------------|--|
| 方向性 | 平成30年6月18日に発生した大阪北部地震やその後の豪雨、台風と相次ぎ発生した災害は、行政としてはもとより、多くの市民にとっても、日頃から災害に備えることへの教訓となりました。近い将来必ず起きると言われている南海トラフ巨大地震など、甚大な被害をもたらす自然災害を見据え、市民一人ひとりが自助、共助の意識をさらに高め、地域防災力の向上を図るとともに、市やその他の関係機関の相互連携による総合的な災害対応力の向上をめざした市民参加型訓練を実施し、災害に強いまちづくりを推進します。 |
| 取り組み | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">開催日時</div> 令和元年（2019年）6月16日（日）9時～15時頃 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">訓練会場</div> 枚方市本庁舎別館、枚方市保健所、ラポールひらかた、船橋小学校・小倉小学校・春日小学校・菅原東小学校及び同周辺地域 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内容</div> 市民参加型訓練 |

| | | |
|--------------------------|-------------|--------------------|
| | ○シェイクアウト訓練 | ○避難所開設・運営訓練 |
| | ○情報共有訓練 | ○企業との連携 |
| 市役所主体訓練 | | |
| | ○災害対策本部訓練 | ○医療対策本部及び応急救護所開設訓練 |
| | ○福祉避難所開設訓練 | ○各部の災害対策本部訓練 |
| 防災ブース | | |
| | ○NPOによる防災学校 | ○企業ブース |
| | ○地震車・煙道等体験 | ○レスキュー訓練展示 |
| 防災講話 等 | | |
| 《目標値》 | | |
| 参加者 4,000 人（訓練会場における参加者） | | |
| 平成 31 年度当初予算：0 千円 | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 9 月末の 進捗状況 【◎】 | 当初の予定どおり総合防災訓練を実施しました（訓練全体としての参加者数約 6,800 人）。7 月 2 日には、京都大学防災研究所、人と防災未来センターにも参加いただき、訓練成果について認識を共有するとともに、課題等を明らかにするための振り返り会議を実施しました。 |
|------------------------------|---|

| (5) 消費者被害対策の推進 | |
|----------------|--|
| 方向性 | 消費者問題が複雑化・多様化する中、消費者被害の未然防止を図るため、情報発信や啓発を積極的に行います。また、幅広い消費生活に関する知識を身につけていただくため、消費者教育の機会を提供します。 |
| 取り組み | 市民向け・若者向け講演会や教育機関への消費者教育支援等を通し、消費生活における的確な意思決定・行動が出来る消費者の育成に努めます。また、市内各所での PR 活動を通じて、幅広い年齢層を対象に消費生活センターを周知します。あわせて、平成 31 年 4 月 1 日に設置した「消費者安全確保地域協議会」での連携により、高齢相談者等への取組の強化を図り、消費者被害の未然防止・早期解決に繋がります。 《目標値》 消費生活セミナー等講演会への参加者数 8,000 人（9,188 人） ※（）内は平成 30 年度実績。 |
| | 平成 31 年度当初予算：1,912 千円 |

**9月末の
進捗状況
【〇】**

消費者教育に関しては、市民向け講演会等を16回、市立小学校2校で講演会を実施しました。また、枚方市駅、樟葉駅での啓発物の配布をはじめ、公共施設の液晶モニターや市役所壁面への横断幕の掲示等を通じて、消費者ホットライン188（いやや！！）を幅広い年齢層へ周知し、消費者被害の未然防止に努めました。

あわせて、配慮を要する高齢者への取り組みを強化するため、今年度4月1日に設置した「消費者安全確保地域協議会」での連携により、高齢相談者等への取組の強化を図り、消費者被害の未然防止・早期解決に繋げました。